

# 総合計画策定に向けて

市民の皆さんからの提言　～市政懇談会・住民アンケートより～



川面会場(川面地域福祉センター)

市は今年度、総合計画を新たに策定するに当たり、市民の皆さんの意見を計画に反映させるため、6月22日から7月13日にかけて「市政懇談会」(14会場・717人参加)を開催。今後10年の高梁市のまちづくりのあり方や方向性について、さまざまなお意見、ご提言をいただきました。

今月号では、市政懇談会で寄せられた主な意見・提言と、今年2・3月に実施した「市民意識に関するアンケート調査」の結果についてご紹介します。

## 市政懇談会

### ◎定住対策

- ▼定住者向けの市営住宅や分譲住宅を建設して、積極的に市外からの受け入れを行っては。
- ▼空き家への定住者が増えていく。
- ▼市と地域で協力して積極的な情報の開示とともに、空き家定住者への支援を。

### ◎子育て支援

- ▼高校生をはじめ、子どもの通学の負担が大きくなっている。スクールバスや交通費助成など、通学支援を。
- ▼共働き世帯が増加しており、待機児童も少なくない。保育体制の充実が必要。

### ◎くらしの支援

- ▼子どもの健全育成のために、子ども会やスポーツ少年団などの活動は大切。活動支援の拡充も必要ではないか。
- ▼高齢化が進んでいるので、介護予防の推進や、介護施設・介護サービスへの拡充など、高齢者福祉を盛り込んで。
- ▼交通サービスが地域によって均一でないで、効率的で細やかな交通整備を進めては。10人程度の乗合バスの運行などが高梁に合っていると思う。
- ▼病院・地域住民・行政が一体になった地域医療の再編が必要。その上で病院のあり方や救急体制のあり方を見直しては。
- ▼上下水道の地域格差が多く残っている。料金体系や提供されるサービスの統一化を図れないか。
- ▼高齢者や子どもなど、安心して歩ける道路が少ない。生活道を優先した道路整備の計画が必要では。



◎産業振興

▼農業振興を進めていく上で、J A、地域住民、行政の連携は不可欠。関係強化に向けた仕組みづくりを。

▼過疎化・高齢化もあり、遊休農地が増えている。遊休農地を増やさない、もしくは活用できる方法を検討して、新規就農や雇用対策に生かせないか。

▼市の大部分を占める林地が荒廃している。木材利用の推進など需要を拡大して、まちづくりや雇用に生かす。

▼市内に高速道路のインターチェンジがあるので、地域に合った新しい地場産業をすることで、雇用と流通に生かせるのでは。

▼雇用の場を拡充しなければ、人口は増えない。企業誘致や新規就農者の受け入れなど、幅広い分野で雇用の拡大を。

◎観光振興

▼駐車場の設置や観光案内所、トイレの整備など、備中高梁駅前の開

発は観光を振興していくためにも必要。

▼市民にもっと高梁を知ってもらわなければ、観光振興はできない。高梁の歴史や文化を知り、観光客をもてなす意識を高められる計画を作っては。

◎教育

▼児童数の少ない小学校が増えている。現在の小学校区を見直す必要もあるのでは。

▼地域にとつて学校は文化の拠点とも言えるが、一人学級も増えている。小規模校同士が合同で授業を行うなどの体制が取れないか。

◎行政改革

▼職員数の削減や職員の意識改革をもっと進めてほしい。

▼職員の人事制度を見直し、個々の能力を生かすような人事を。

各会場でアンケートを実施。市のこれからのまちづくり施策について、最も重要と思う項目を選択していただきました。各会場で多かった項目は下表のとおりです。

会場	最も多かった項目	次に多かった項目
高梁	雇用の場の確保	高齢者への福祉対策
津川	高齢者への福祉対策	担い手の育成等農林業の振興対策
川面	高齢者への福祉対策	国・県道など幹線道路や生活道路の整備
巨瀬	国・県道など幹線道路や生活道路の整備	消防、救急体制の整備
中井	国・県道など幹線道路や生活道路の整備	雇用の場の確保
玉川	高齢者への福祉対策	担い手の育成等農林業の振興対策、市営住宅や分譲宅地の整備等の定住対策、国・県道など幹線道路や生活道路の整備
宇治	担い手の育成等農林業の振興対策	地域医療体制の充実
松原	担い手の育成等農林業の振興対策	雇用の場の確保、バスなど公共交通機関の整備
高倉	国・県道など幹線道路や生活道路の整備	雇用の場の確保
落合	国・県道など幹線道路や生活道路の整備	雇用の場の確保
有漢	消防、救急体制の整備	雇用の場の確保
成羽	地域医療体制の充実	高齢者への福祉対策
川上	地域医療体制の充実	国・県道など幹線道路や生活道路の整備
備中	地域医療体制の充実	担い手の育成等農林業の振興対策